

平成24年度
苫小牧市こども国際交流事業

**中学生秦皇島市派遣団
報告書**



平成24年7月28日（土）～8月1日（水）

中国 秦皇島・北京

苫小牧市

目 次

派遣団名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
日 程・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
「中学生秦皇島市訪問事業を終えて」 団長 苫小牧市立緑陵中学校 校長 澤谷 佳典	4
「中学生秦皇島市派遣団に参加して」 派遣団リーダー 苫小牧市立勇払中学校 田中 巧	5
旅 行 記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
ホームビジット体験記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
研究報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
旅の思い出（写真）・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17



秦皇島市第十六中学校中学校にて

中国秦皇島市派遣団員名簿

引率者

	所属		氏 名
団長	緑陵中学校	校長	澤谷 佳典
アドバイザー	緑陵中学校	教諭	石山 浩幸
事務局員	苫小牧市市民自治推進課	主査	中村 圭吾

団員

	学校	学年	氏 名
リーダー	勇払中学校	3年	田中 巧
	苫小牧東中学校	2年	相原 永佳
	緑陵中学校	3年	秋生 麗樺
	開成中学校	2年	岩間 有利
	沼ノ端中学校	1年	梅野 桃花
	苫小牧東中学校	2年	佐藤 朱莉
	凌雲中学校	1年	田片 美羽
	青翔中学校	2年	成瀬 堇
	明倫中学校	2年	堀 美宇
	和光中学校	2年	室井 未来



7月23日出発式

事業概要

●目的

国際的視野を持つ人材の育成と友好都市交流の発展を目的として、子供たちを外国に派遣し、その国の文化や習慣に直接触れ、その国の子供たちと交流をする。

●訪問国（都市）

中国（秦皇島市・北京市）

●事業工程

月 日	曜日	時 間	内 容	備 考
5月23日	水	17:30 ～19:00	選考面接 （作文・面接による選考）	
6月 5日	火	18:00 ～19:30	結団式・第1回事前研修 （説明会）	
6月12日	火	18:00 ～20:00	第2回事前研修 （中国語講座・両市の概要）	講師:苫小牧駒 澤大学留学生
6月19日	火	18:00 ～20:00	第3回事前研修 （団結ゲーム・お土産の相談）	
7月 3日	火	18:00 ～20:00	第4回事前研修 （リーダー決定・学校交流相談）	
7月10日	火	18:00 ～20:00	第5回事前研修 （中国語講座・学校交流練習）	講師:苫小牧駒 澤大学留学生
7月17日	火	17:00 ～20:00	第6回事前研修 （中国語講座・グループ分け・事前学習）	講師:苫小牧駒 澤大学留学生
7月23日	月	17:00 ～20:00	出発式・第7回事前研修 （市長表敬・事前学習・学校交流練習）	
7月24日	火	17:00 ～20:00	第8回事前研修 （事前学習・学校交流練習）	
7月28日 ～8月1日			中国へ訪問	
8月 7日	火	17:00 ～20:00	帰国報告会準備①	①②のほか、 期間中グルー プごとに数回 準備
8月14日	水	9:00 ～12:00	帰国報告会準備②	
8月21日	火	18:00 ～20:00	帰国報告会	

こども国際交流事業・中学生秦皇島市派遣団日程

秦皇島市3泊、北京1泊（5日間）

	月 日	曜日	時 間	場 所	内 容	移動 (ホテル)	食 事
1	7月28日	土	11:00	市役所 集合	市役所発 11:30 新千歳空港着 12:00	専用バス	昼:機内食 夜:レストラン
			13:50	新千歳 発	CA170 北京空港着 17:15	航空機	
			19:00	北京 発	夕食後(北京～秦皇島 4時間)	専用バス (秦皇島大酒店)	
			0:00	秦皇島 着	ホテル到着		
2	7月29日	日	8:30	秦皇島 滞在	ホテル発	専用バス (秦皇島大酒店)	朝:ホテル 昼:歓迎会 夜:ホーム ビジット
			9:00～ 13:30		第十六中学校訪問 (文化・スポーツ交流・歓迎昼食会)		
			14:00～ 20:00		ホームビジット(夕食含む)		
			20:00		ホテル到着(ホストファミリー送迎)		
3	7月30日	月	9:40～ 11:30	秦皇島 滞在	秦皇島市内観光 老龍島	専用バス (秦皇島大酒店)	朝:ホテル 昼:レストラン 夜:歓迎会
			12:00～ 15:30		秦皇島市内観光 天下第一関		
			16:00～ 17:00		秦皇島市内散策(スーパーで買物など)		
			18:00～ 20:00		歓迎夕食会 ホテル到着		
4	7月31日	火	7:30	秦皇島 発	ホテル発(秦皇島～北京 4時間)	専用バス (北京クラウン プラザホテル)	朝:弁当 昼:レストラン 夜:レストラン
			12:30	北京 着	北京市内観光 万里の長城・中国茶体験・天安門広場		
			20:30		ホテル到着		
5	8月1日	水	5:30	北京 発	ホテル発	専用バス	朝:弁当 昼:機内食
			8:00		CA169 新千歳着 12:50	航空機	
			13:50	新千歳 発		専用バス	
			14:30	市役所 着	解散		



中学生秦皇島市訪問事業を終えて

このたび、市内の中学生１０名と引率者３名からなる中学生秦皇島市派遣団は、友好都市の中国秦皇島市を訪問しました。海外への旅ということで子どもたちに不安はあったと思いますが、大変楽しく、大きな収穫のあった３泊４日でありました。

秦皇島市では、中学校への訪問・交流、ホームビジット、市内見学、そして首都北京市では、天安門広場や万里の長城に登る体験などをし、中国への理解を深めながら、多くの人と交流し熱い友好を築いてきました。

秦皇島市は人口が２８０万人を超える大都市で、高層ビルが多く建ち並ぶ風景は、当初のイメージを遙かに上回るものでした。また、万里の長城の東端を有し、多くの観光客が訪れていました。

また秦皇島市は、多くの中国の要人が避暑に訪れるリゾート地としても有名であります。ただ、訪問した７月末は猛暑の中でとても避暑地と言うには暑過ぎました。そんな中、秦皇島市第１６中学校を訪問させていただき、校長先生をはじめ、生徒や関係者の皆さんに大歓迎していただきました。交流の場面では、きっと多くの準備の時間を要したであろう内容を心を込めて発表していただきました。全校生徒が２０００人にも及ぶこの第１６中学校は、軍と提携し実際の軍人による指導も行われる特殊な教育課程を持つ学校で、入学希望者がとても多いそうです。

今回、子どもたちにとって最も印象深い思い出となったのは、現地の生徒の家庭を訪問し一緒に過ごしたホームビジットだと思います。夜８時、ホテルのロビーに、先方の家族に送られて帰ってきた子ども達の顔は笑顔であふれていました。短い時間ではありましたが、子ども達を家族の一員として温かく迎え、深く心に残る交流をいただいた各ご家庭の皆さんに心からお礼を申し上げたいと思います。

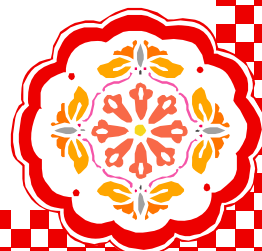
また、政府関係者の方々や学校関係者の皆さんに、大変豪華な昼食会、夕食会で盛大な歓迎をいただきました。こうした様々な交流を通じて派遣団の最大の目的である友好を深めつなげることは十分に達成できたものと思います。

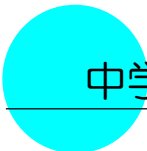
今回の派遣は、子どもたちにとって大変貴重な体験となりました。この体験が将来にわたって子どもたちの心に残り、国際感覚豊かな人間に育ってくれることを心より期待しています。

終わりになりますが、この事業の実施にあたり、苫小牧市市民自治推進課をはじめ関係者の皆様には、多大なご尽力・ご協力をいただきましたことに深く敬意と感謝を申し上げます。

平成２４年８月

派遣団 団長
苫小牧市立緑陵中学校
校長 澤谷 佳典





中学生秦皇島市派遣団に参加して

派遣団リーダー 苫小牧市立勇払中学校 田中 巧

僕は「苫小牧市こども国際交流事業・中学生秦皇島市派遣団」の一員として中国に行ってきました。この訪問を終えて、人間の弱さと小ささ、そして生きていることの素晴らしさを学びました。

中国に派遣され、北京空港に到着した時、その人の多さに度肝を抜かれました。その時、自分の小ささに気付きました。どれほど大きな声を出しても、その人込みの中にかき消されてしまう。しかしこれは、僕だけでなく、皆が体験していたことでした。一つ一つの存在は何かと比べれば途方もないほど小さいのです。自分という一つの存在を大きく見せることができるのは、とても優れた能力だと思いました。

中国では、学校交流をしました。様々なものを披露してもらったり、中国について学ばせてもらいました。交流の中で、中国の生徒と手を繋ぐ場面がありました。この時、人間の弱さを感じました。人は一人では生きていけません。たくさんの人の力を借りて生きているのです。

例えるとすれば、魚の鰯。もしも鰯が群れでなく、一匹で泳いでいたとすれば、すぐに他の魚に食べられてしまいます。だから鰯同士で協力して、生きていかなければならないのです。

人間は、数億分の一の確率で誕生し、親や親族に育てられ、様々な人と関わり、支えられながら成長し、やがては誰かを支えるようになります。人間も他の様々な動物も、お互いに助け合い、協力し合って生きています。自分の命は自分一人のものではないのです。

そんな風に感じたり、思ったりしてしまうのであれば、それはただの傲慢です。自分の命は支えてくれた人たちの皆のものなのです。生かされている意味を深く考え、その答えを見つけ出した時、人間は大きく前進することができます。そして、恩返しをしなければなりません。今回の経験を踏み台にして、他国と繋がり合い、平和な国際関係を築くことができればいいと思っています。

今は、生きていることの喜びを忘れず、自分の命に誇りを持って、精一杯、生きて生きます。「命」の繋がりを感じながら。

旅 行 記

第1日目 7月28日（土）

梅野 桃花

7月28日、苫小牧は快晴で私にとって暑いぐらいだった。

「中国はどんなところだろう。ホームビジットでは、一人でやっていけるだろうか。」そんな心配を胸に今回の仲間が集まる市役所へと向かった。

市役所に到着し、リーダーが出発の挨拶をしているのを聞いて、私は「本当に中国へ行くんだなぁ」と実感がわいてきた。

そして市役所を後にして、バスに乗り新千歳空港へ向かった。



新千歳空港に着いて自由時間になると、女子6人ぐらいで子供の遊び場で遊んでとても盛り上がり楽しかった。

その後、おにぎりや、お菓子を買ったりして、いよいよ私たちは、飛行機に乗った。飛行機の中はわりと肌寒かった。

そうこうしているうちに飛行機が出発して客室乗務員が飲み物を配り始めた。前の座席から順番に英語で注文を聞かれていて、自分の番になった時は、通じるかとても不安だったが、無事に飲み物をもらえた時はホッとした。

そんな長いようで短い飛行機での移動が終わり、北京空港に到着し、飛行機を降りた瞬間ものすごい熱気にびっくりした。絶対30℃は超えていると思うほど暑かった。



そして、今度はバスに乗り中国で最初に食事をするレストランへ向かった。

レストランに着くともいえないほどのたくさんの料理が出てきて、とても驚いた。でも、中華料理は思ったよりおいしかった。



みんなが食べ終わると、またバスで秦皇島のホテルへ向かった。もうあたりは暗くなり始めバスにも慣れてきたころ、私と三人の女子で怖い話を始めた。でも私が知っている怖い話よりも怖かった。それからいろいろな話をして現地に着くまでずっとしゃべっていた。

そして、ついにホテルに着いた。思ったより大きくて、ロビーもとてもきれいだった。到着したのは12時くらいというのもあって、みんな眠そうだった。私も眠かったので部屋についてシャワーをあびると明日に備えて寝た。明日からの活動がとても楽しみだ。

第2日目 7月29日（日）

相原 永佳

二日目、前日の到着が夜中だったこともあり、睡眠時間が短かった私は半分寝ながらロビーに集合した。周りを見るとみんな出発した時ほど元気はなく、半分寝ぼけながら集合していた。

バスに乗り、数分で到着した第16中学校は、苫小牧市内の学校では数少ない入り口に電光掲示板がある、新しい学校だった。ホームビジットで一緒にいる人を紹介されて、一緒に交流を行う教室まで行った。この日一番驚いたことは、迎えてくれた中学生達の制服が軍服のようであったことだ。また、最初に見せていただいた学校生活の様子が勉強より、軍事訓練が多かった事にも驚いた。

次に、中国側の文芸披露があり、キーボードや歌、踊り、琴、習字などを披露してくれた。種類が豊富でとても楽しかった。中でも歌は、迫力があり、すごいと思った。

その後、私達が行う日本の歌の披露の前に代表として文芸披露のお礼と曲紹介をした時はとても緊張した。しかし、練習と同じように出来てよかったと思う。



午後、歓迎昼食会後にホームビジット先の家まで彼女とアイスを食べながら行った。到着した時に家に誰もいなかった時は焦ったが、彼女が隣家の方に携帯を借り連絡してようやく家

に入れた時は本当に安心した。必要なものだけを持ち、彼女と彼女の妹二人と歩きまわった。その時、梅野さんペアと会い、妹達と分かれて四人で色々なところに行ったのはとても面白かった。



夕食を食べに彼女と彼女のお母さん、妹とレストランに行き、帰りは子供四人で公園で二時間ほど遊んだ。公園では苫小牧にもあるような遊具だけでなく遊園地やトレーニング遊具のようなもの、山などの自然の遊び場があり、楽しかった。



夜は寝不足で疲れて寝た人もいたが、私は驚くことがたくさんあり、なかなか眠れなかった。明日が楽しみだ。

第3日目 7月30日（月）

堀 美宇

三日目は、秦皇島観光をした。昨日の夜、遅くまで起きていたのか、寝不足の人が多く朝がつらいようだった。

秦皇島は快晴だったが、みんな中国の蒸し暑さにはまだ慣れておらず、少しきつめの観光になった。最初に向かったのは老龍頭。ここは万里の長城の一番東側で唯一、海が見える所だ。ガイドのコウさんが「万里の長城は全体が龍の形をしていて、老龍頭はちょうど顔の部分です」と説明してくれた。色鮮やかな建物が綺麗だった。万里の長城は全長約 6,700km あり、宇宙からでもその形を確認できるらしい。



次は昼食で、肉まんがおいしい店に行った。店内は、とても混んでおり全席満員で人気のある店なんだなと思った。私達は少し待ってから、個室に案内された。メインの肉まんは、やっぱりおいしかった。大きさは日本の肉まんの半分くらいで、中国の方が少し小さく感じた。料理の皿がたくさん出てきて、10人もいたが全部食べることができなかった。

そこから天下第一関（万里の長城の一部）に到着。全員で記念撮影をした。ここは私が思っていたよりもはるかに大きい門があってその大きさには圧倒された、頂上へ向かう登り坂は結構急で、坂と階段に分かれていた。昔、武力のある人（将軍など）は坂、頭の良い人（文士

など）は力が弱いイメージがあったので階段で登ったとコウさんが教えてくれた。戻る時は登りと違う坂で、買い物しながら下りた。どこのお店も物価が安く品数も豊富だったので私もおみやげを買った。



だいぶお腹が空いてきた頃、夕食に向かった。料理では煮魚が好評で、とてもおいしかった。日本食に似ていたからかもしれない。

予定では夕食前に長寿山の登山などがあったのだが、昨日の大雨の影響で登れなくなってしまったので、ホテルに着いてからナイトショッピングに出かけた。中国のスーパーマーケットもやはり物価が安く、お菓子などのお土産を買うことができた。



その後、団員10人で集まり、夜遅くまで話したり、遊んだりして盛り上がった。

第4日目 7月31日（火）

成瀬 堇

「リリリーン」今日も一日の始まりを知らせるモーニングコールが鳴り響き、朝早くに北京に向けてホテルを出発した。

万里の長城に着くと、高さんの案内で歩き始めた。意外と私達が登るところまでが遠く、急な坂道があり、とても恐かったが、頂上に着くと、風が気持ちよくて涼しかった。

しかし、下りる時はとても急で、「落ちたらどうしよう」と思い、とても不安だった。



無事に下り、いろいろなものが売っているお店がいくつかあったので、チャイナドレスと扇子を買おうと思い、店に入った。すると「これ、かわいいね」などと話しているだけで、すぐに店員さんが「イリマスカ？」としつこく言ってきて困った。佐藤さんも、「何これ！すごい！」と言っただけで、「イクラアリマスカ？」と財布のお金をとられて、商品を渡されたと言っていて、とてもかわいそうだった。

それからバスに乗り、次の目的地、北京オリンピックのメインスタジアム「鳥の巣ドーム」へ向かった。鳥の巣ドームは、とても大きくてきれいだった。

そして、お茶屋に行った。店員さんが、お茶の入れ方やお茶の種類を教えてくれた。中でも、暑いお湯を入れると絵が変わるコップはとても驚いた。お茶はどれも美味しく、ジャスミン茶は日本と違い、苦くなくてとても美味しかった。

説明の後、お茶を買う時にとても高くて驚いた。

それに、店員さんがしつこくて、田中君がバスに乗るまでついてきて、お茶を買わせられていた。

次に、天安門へ行った。天安門へは、車でいけない為、遠くて歩いていくのがとても大変だった。それに、雨が降ってきて近くまで行けなくてとても残念だった。



最後に、夜ごはんを食べにレストランへ行った。北京ダックを切る所を見せてくれて、少し怖かったけれどとてもいい匂いがした。私は、北京ダックを食べるのが3回目だったけれど、やっぱり北京ダックは美味しかった。

ホテルに戻ると、みんなと少し話してから、相原さんとチャイナドレスを着てみた。着心地はとても良く、動きやすかった。



この日も、みんなで集まって、少し話しをしてから眠った。明日は、最終日だ。

最終日 8月1日(水)

田片 美羽

朝四時すぎ、眠たい眼をこすりながら、出発の準備をしていた。昨日は何人かで集まり、朝まで起きていたのだ。と言っても私は眠気にたえられず、午前2～3時くらいまで寝てしまった。荷物をつめてエレベーターにむかうと、昨日あつまっていたメンバーもいて、みんな眠たかったらしく、無口だった。

空港につくと、色々な審査を終えて、飛行機に乗るまで時間があつたので、色々な所を見に行きました。パンダの店を見に行ったりしましたが、眠気に負けて派遣団の人達が集まっていたイスの所でウトウトしていた。



すると、中国人っぽい人が派遣団の座っていた所に来て、リーダーのとなりに座ってケータイをいじっていた。私達はビックリ半分でしゃべっていると、グループだということを気付いたらしく、どこかに行ってしまった。

そして、時間になったので、飛行機に乗った。私は離陸する時の、あの登る時のふしぎな感じが好きなので、起きていたかったが、とても眠たくて困ってしまった。となりの席だった堀さんと岩間くんと話していると、眠気がふっとんでしまった。

しばらくウトウトしていると機内食が出て食べ終わったあと、気流の流れが荒かったので、トレイを片付けなくてはいけなくなってし

まい、飲み物を手に持ったまま寝てしまった。すると、もうちょっとで離陸という所で目を覚ますとコップの中の中味がほとんどこぼれてビチョビチョになってしまっていてビックリしました。そんなこともあり、ちょっと気分が沈みかけていましたが日本に着くとすぐうれしくなってきました。



帰りのバスに乗り込んでしばらくすると、市役所に着きました。家族が見えて、少しうれしくなった。

リーダーが「この後の研修もがんばりましょう」と言って中国の派遣が終わった。



ホームビジット体験記①

室井 未来

私は楚芹(chupeng)さんの家を訪ねました。楚芹さんを初めて見たときは大人しそうな人なのかなと思ったけどとてもテンションが高い人でした。学校交流で、楚さんとあやとり



楚芹さんはアパートみたいな所に住んでいて、楚芹さんの部屋には日本のアニメのポスターがたくさんありました。たとえば名探偵コナン、大夜叉、けいおんなど、ほんとにたくさんポスターがありました。



←もらったプレゼント

※ホームビジット～学校交流の後、現地の学生とペアになり自宅などを訪問しました。



楚芹さんは秋生さんのペアの可憐さんと仲が良く、一緒にバドミントンをやりに行きました。学校の前で待ち合わせをすることになったので学校の前で待っていると秋生さんペアの他に楚芹さんの友達も来てくれて、みんなで学校のグラウンドでバドミントンをしました。みんな上手でした。学校のグラウンドはタタニになっていてビックリしました。

私と楚芹さんは秋生さんペアと一緒に、ショッピングに行きました。アニメキーホルダーなどを買ってくれました。お店を出て、秋生さんペアと別れ、楚芹さんの家に帰りました。夜ご飯が出来るまで名探偵コナンのビデオを見ました。夜ご飯は、ガyoガとちょっと辛い焼き鳥でした。とてもおいしかったです。夜ご飯を食べ終わって、コナンのビデオのつづきを見ました。少したって、車でホテルに向かいました。果物をたくさんもらって、お別れしました。楚芹さん達はみんな親切で優しく、とてもいい人でした。



ショッピングに行った市街地

ホームビジット体験記②

秋生 麗樺

私のパートナーは梁可欣という
元気な女の子でした:)
昼食を終えて、レストランを出ると
ニコニコした梁可欣ちゃんの
家族が出迎えてくれました。



市街地でショッピング

それから車に乗って梁可欣ちゃんの家につくと、手作りのTシャツをくれましたビックリです!!
その後フルーツや飲むヨーグルトのようなものを食べました。
そして室井さんペアと他の中国人の女の子達と合流して、
バドミントンをしました☺
外でやったのでとても暑かったです☀

その後、女の子達とは別れ、室井さん
ペアと両ペアのお母さんと共に
お買い物に行きましたよ
そこでいちごのケーキを買って
もらいました!! 甘ずばかったです(>w<)
他にも色々な物を買ってくれました。

例えば
こんなかわいいらしい
ストラップなどっ☺



ホストファミリーと一緒に海へ

そして室井さんペアと別れ、
梁可欣ちゃんのお父さんと
一緒に海へ行きました☺
はしゃぎすぎてビショビショに
なったけど、とても楽しかったです!!!
疲れて車の中では寝てしまいました😴



連れて行って
もらった
北載河の入場券

夕飯はレストランでいただきました。
言葉はあまり通じませんでしたが
楽しいことは変わらないし、
そんなに壁を感じずに仲良く
遊べました。とても楽しかったです☺
それに添乗員さんに付いていて
名所などを見るだけの団体ツアー
では見ることのできない一般家庭の様子が見れて、
とても貴重な体験ができたなと思いました☆



北載河の海水浴場



レストランでの夕食

ホームビジット体験記③

佐藤 朱莉

私は穆小愛さんのご家庭にお世話になりました。
小愛さんのお家は花柄で統一されていて、
とてもかわいらしかったです。
絵が飾られてあったり、2階が
あったり、とても素敵でした。

小愛さんは私に巻き物を
プレゼントしてくれました♡
これは、お父様のご兄弟が
書いてくれたそうです!!
とても上手で、びっくりしました。



もらった掛け軸

夕食は「川橋火鍋」というお店でした。
日本のしゃぶしゃぶと似ていました。

その中に、寒天みたいな
ものと、つくね、茶色の
パリパリしたものが
入っていました。
おいしかったです。
びっくりしたのはゴマ団子の
大きさです。人のこぶしより
ひとまわり大きい感じです。



小愛さんの家族に、
日本でいうイオンみたいな
大型スーパーや、海等
つれて行ってくれました。
海の近くに小愛さんのご両親
が働いている
スーパーがあり、
貝がらのブレス
レットをもらいました。
海はとても暑かったです。



連れて行ってもらったレストラン

別れる時、お母様が
「あなたへのおくりものです」
と言って、おじょうさん(?)
みたいなのがついた
ペンダントをプレゼント
して下さいました。
小愛さんの家族は
みんな温かくて、
やさしくて、バイバイ
するのが嫌なくらいでした。



小愛さん、本当にありがとうございました!!

ホームビジット体験記④

岩間 有利

僕は、宇一言くんの家族と共にお祭りと遊園地を混せたような所に行きました。宇くんの家族にとっても優しく接してもらい居心地が良く、わからないことがあれば英語で教えてくれました。

そこでは、ジェットコースターに乗ったり小さいバイクに乗りとても楽しい体験をさせてもらいました。

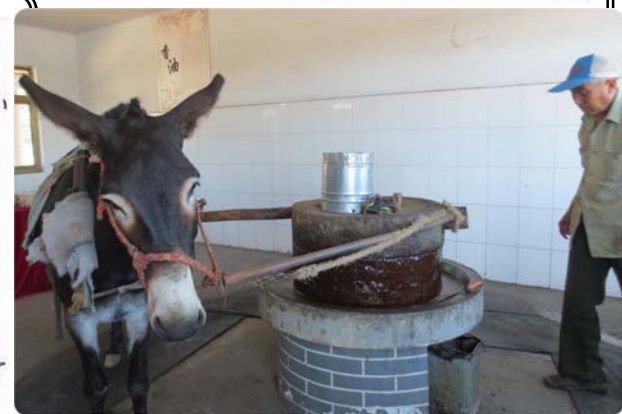


僕達は海に行きました。海でおにごっこをしました。宇くんはとても足が速くてびっくりしました。何かスポーツをしているか聞くとテニスをやっているらしく少しテニスを教えてもらいました。



僕と宇くんの家族でレストランに行きました。レストランに行くともうご飯が並んでいて、メニューはこんなにたくさんを揚げたものや日本で言うロールキャベツがありました。とてもおいしく失礼のないように少し残すと

宇くん「全部食べていいよ」と気をつかってくれてとてもありがたかったです。



最後に宇くんの家に行ってお土産を交換しました。宇くんから中国の写真集と竜の民芸品をもらいました。それからすぐに車に乗ってホテルに向かいました。ホテルのロビーで宇くんと握手してお別れしました。宇くんは、いつか苦小牧文に来ると言っていました。その日まで楽しみにして待ってます



研究報告 第1グループ

相原永佳・岩間有利
佐藤朱莉・田中巧・室井未来

発表テーマ

中国の衣食住について



中国の中学生

中国の学生の制服は軍服のようなもので授業風景の多くが軍事訓練を行っているものだったことに驚きました。私服はショートパンツやワンピースが多かったです。

天安門広場や道路のところに、警察が直立不動で立っていました。雨が降っていた時も、ずっと立っていて、すごいと思いました。

食べすぎ注意

中国での辛いもの食べすぎに注意

衣



面白いもの、動物、人、発見!!
中国ではパンツだけで歩いたり、バイクに乗っている人がいました。他にも、道路のはじめでロバが荷車をひいていた。馬やラクダ、くじらなどの多くの動物がいました。



中国といえばチャイナドレス!!
四日目に北京で万里の長城の入り口ホテルに着いた。チャイナドレスを着た人を見ました。



岩間 有利
相原 永佳

中華料理の特徴

中華料理の特徴は、火を必ず通し、炒めるか、蒸すかしています。薄味で素材の味を生かしていました。飲料は、お茶が出てきます。ジュースは、コーラと、スプライトが主に出てきました。

餃子

日本の焼き餃子ではなく、厚めの皮に、ひき肉をつめ、ゆでたもので、これもジュースでふんわりと仕上げられていました。



麺

麺は、平たい麺と素麺のような麺がありました。北海道のちぢれ麺や蕎麦、うどんとも違い、麺そのものには味はなく、つゆのベースは醤油でした。

食



チャーハン

僕が食べたチャーハンは、薄味で塩味でした。作りかたとしては、米を軽く炒めて、後から具と卵を入れていました。

佐藤 朱莉
田中 巧

万里の長城

万里の長城は、約6700 kmあります。龍の形をしており、急な坂や階段がつづいていました。



hotel

下の写真は秦皇島のホテルです。とても立派でした。



天安門広場 レストラン

この建物のまん中にあるのは、毛澤東という人です。そこにすごく大きな画面があって、赤が基調となっていて、さすが中国!! と思った。



home visit

中国の家はマンションが多く、一軒家はみません。玄関は日本のようなものではなく、入ってすぐ、靴をぬぎスリッパにはきかえるというような形です。

中国の街並み
高層ビルが多いです。



室井 未来
佐藤 朱莉
相原 永佳

秋生麗樺・梅野桃花
田片美羽・成瀬堇・堀美宇

中国の名所・コピー商品・食べ物



旅の思い出



事前研修 (全 8 回)



市役所に集合して出発！



1日目

新千歳空港から直行便で



引率大人チーム



北京首都国際空港



12時過ぎに、ホテル到着



最初の食事、もちろん中華



中国の生徒とご対面



2日目

日中の校長先生



あやとりで交流



文化披露「謝謝!!秦皇島」



男子ペア



ホームビジット



おはよう！バスの車内



中村さん撮影中



中国のお弁当



3日目

老龍頭(万里の長城の東端)



観光地の山海関区へ



市内散策



天下第一関(長城の関所)



4日目

昼食は点心



八達嶺(万里の長城)



雨の天安門広場



中国茶の体験



夜ふかし？



朝5時に集合し、北京空港へ



最終日

さようなら、ガイドの高さん



中国国際航空の飛行機



帰りの機内食



新千歳空港に到着



リーダーの帰国挨拶



報告会



平成24年度苫小牧市こども国際交流事業
中学生秦皇島市派遣団報告書

平成24年10月発行

総合政策部 政策推進室 市民自治推進課

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号
TEL 0144-32-6157（直通）
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/siminjiti/>